

# 指定及び候補ルートへの審議



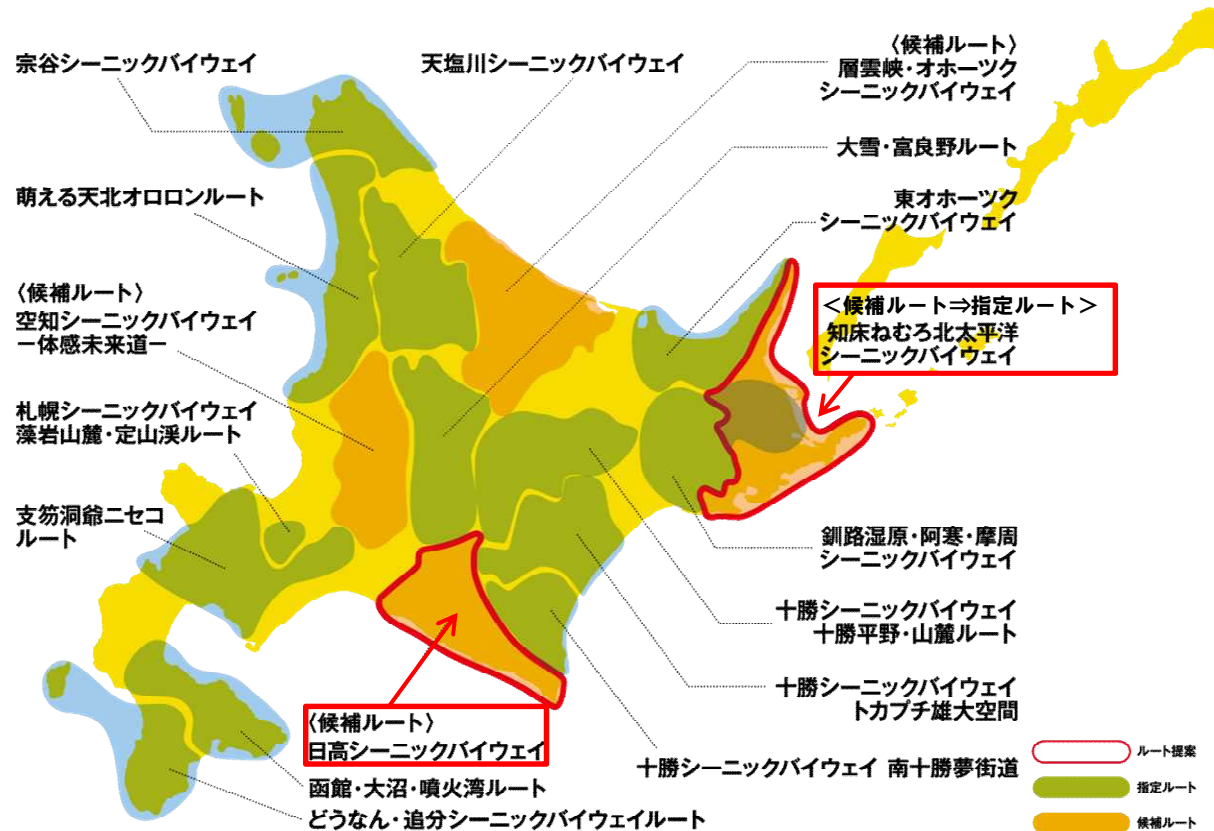
Scenic Byway HOKKAIDO

令和4年9月29日ルート審査委員会にてルート指定・候補の推薦に関する審査を行った。

ルート名称	代表者名	代表者の所属	構成団体数	関係市町村数
〈提案:候補→指定ルート〉 知床ねむろ北太平洋 シーニックバイウェイ	遠藤 修一 (えんどう しゅういち)	大地みらい信用金庫 理事長	27	8
〈提案:候補ルート〉 日高シーニックバイウェイ	工藤 仁 (くどう ひとし)	様似町商工会	31	7

## ▼ルート登録状況

候補登録年月日	指定年月日	ルート名称
—	H17.05.09	支笏洞爺ニセコルート
—	H17.05.09	大雪・富良野ルート
—	H17.05.09	東オホーツクシーニックバイウェイ
—	H18.04.18	宗谷シーニックバイウェイ
H17.05.09	H18.11.13	函館・大沼・噴火湾ルート
H17.05.09	H18.11.13	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
H18.04.18	H20.05.12	萌える天北オロロンルート
H18.04.18	H21.05.13	十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート
H20.05.12	H22.05.17	十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間
H18.04.18	H23.07.29	十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道
H21.05.13	H23.07.29	札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート
H20.05.12	H27.12.21	どうなん・追分シーニックバイウェイルート
H25.06.24	H29.10.24	天塩川シーニックバイウェイ
H25.06.24		層雲峡オホーツクシーニックバイウェイ
H30.11.05		空知シーニックバイウェイ-体感未来道-
R01.09.20		知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ
		日高シーニックバイウェイ

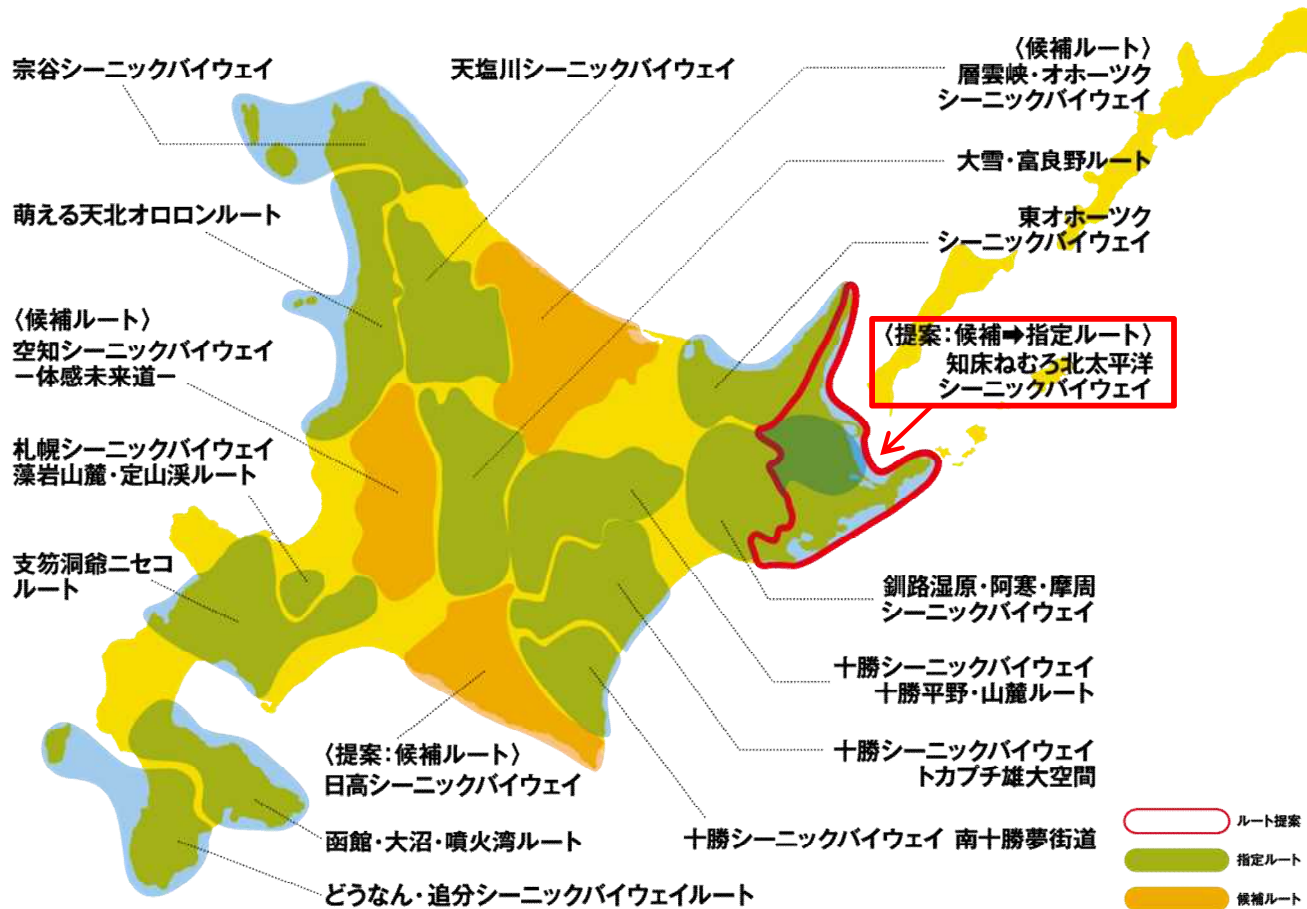


# シーニックバイウェイ北海道 今回の提案ルート

ルート名称	代表者名	代表者の所属	構成団体数	関係市町村数
<b>&lt;提案：候補→指定ルート&gt;</b> 知床ねむろ北太平洋 シーニックバイウェイ	遠藤 修一 (えんどう しゅういち)	大地みらい信用金庫 理事長	27	8

## ▼ルート登録状況

候補登録年月日	指定年月日	ルート名称
—	H17.05.09	支笏洞爺ニセコルート
—	H17.05.09	大雪・富良野ルート
—	H17.05.09	東オホーツクシーニックバイウェイ
—	H18.04.18	宗谷シーニックバイウェイ
H17.05.09	H18.11.13	函館・大沼・噴火湾ルート
H17.05.09	H18.11.13	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
H18.04.18	H20.05.12	萌える天北オロロンルート
H18.04.18	H21.05.13	十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート
H20.05.12	H22.05.17	十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間
H18.04.18	H23.07.29	十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道
H21.05.13	H23.07.29	札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート
H20.05.12	H27.12.21	どうなん・追分シーニックバイウェイルート
H25.06.24	H29.10.24	天塩川シーニックバイウェイ
H25.06.24		層雲峡オホーツクシーニックバイウェイ
H30.11.05		空知シーニックバイウェイ-体感未来道-
<b>R01.09.20</b>		<b>知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ</b>
		日高シーニックバイウェイ



令和4年12月22日  
シーニックバイウェイ北海道推進協議会

## シーニックバイウェイルート指定について

○シーニックバイウェイ北海道実施要綱第18条第一項及び第二項の規定に基づき、次のとおりシーニックバイウェイルート指定を行う。

### ■指定ルート

ル ー ト 名：知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ

関係市町村：羅臼町、標津町、中標津町、別海町、根室市、浜中町、厚岸町、釧路町

提 案 者：知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイルート運営代表者会議

なお、上記の指定を行うにあたって、別紙の通りルート審査委員会（令和4年9月29日開催）からの意見を付記する。

## ルート審査委員会 意見

### ■シーニックバイウェイ指定ルート

#### ◆指定ルート全体に対する意見

##### ○優れた景観資源の有無及び地域資源の優位性

- ・釧路湿原、霧多布湿原、春国岱、野付半島等他では見られない独特な自然地形や丹頂鶴、オジロワシ等の動植物がもたらす地域資源や景観は、各々大変に優れたものである。それらを本ルートによって連携し、周遊・体感することでより一層、印象深いものとなり、価値が高まり、大いに評価できる。
- ・エリアは道外道内の日本国民はおろか諸外国からの訪問客に対して、深い感銘と驚異をもって受け取られる極めてユニークで質の高い優位性を持っており、これまで知られてきた部分より知られてこなかった部分を、知らせることにより、深く認識され、再訪を繰り返すことにより更に深度化、拡張するであろう可能性とその優位性が感じられる。

##### ○活動団体によるルート運営活動計画の主導的な推進、地域住民等と行政が一体となった地域の魅力向上の取組、景観の質の向上、ルートのブランド化、地域の活性化

- ・広大な地域を特色のある6つのサブルートに整理し、それぞれの特長を生かしつつ、また相互に連携して相乗効果の発揮を目指して、着実に進んでいて評価できる。サブルート・サブエリアのコンセプトを一層明確に共有化した活動団体の多様な活動内容と人材を連携することが出来るフットパスによる横つなぎ活動の“地元学”化を期待したい。
- ・住民が相対的に少なく住民と産業の密接度が高い本ルートにおいては、SBWの活動団体のステークホルダーに地域住民も含まれると思われるので、地域を魅力的なものにする計画や活動に地域住民は基本的には賛同し、地域住民等と行政が一体的に取り組まれていると理解できる。
- ・景観の質の向上は、絶景景観の調査、調査後の保全・改善等で、やるべきことは認識していると思われるので、具体的な実行計画の策定を進めることが望まれる。また、四季を通じた“多様性のある地域価値の活用”と地域の活性化の工夫と発見を期待したい。「世界中のトラベラーを癒す最果ての自然と美食の絶景海道」というルートのテーマを英文にして、世界の中でのブランド化を図るべきと考える。

##### ○社会的共通資本の構築

- ・2050目標のカーボンニュートラル社会への先導地域となることが十分に可能な各種資源を持っている地域なので、アフター・コロナ社会に必要な社会的共通資本の再構築やグリーン・カーボン、ブルー・カーボンを強く意識した活動の深化とそのアピールを期待したい。

## ルート審査委員会 審査結果

### 知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ

審査の視点	視点1					視点2	視点3	視点4	シーニックバイウェイルート指定の推薦の可否	
	国内において優位性が認められる主な地域資源								活動団体の主 導的な推進	地域の魅力向 上への取組
審査委員	景観	自然	文化	歴史	レク					
A	○	○	○	○	-	認められる	認められる	認められる	推薦できる	・全国のみならず世界に通じる価値を持っている多様な地域とそれを連携するサブルートがしっかりと連鎖・連携した活動体であること評価した。
B	○	○	○	○	○	認められる	認められる	認められる	推薦できる	大型新人という評価がびったりであり、既存にSBルートにも参考になる取り組みが多数ある。指定後もさらなる高みを目指して取り組んでいただきたい。
C	○	○	○	○	○	認められる	認められる	認められる	推薦できる	
D	○	○	-	○	○	認められる	認められる	認められる	推薦できる	・活動団体の熱意が資料から感じられる一方で、行政の特定部門だけの連携とも感じるのも、もっと行政の他部門や首長を巻き込む努力が必要であるが、指定ルートになるのをきっかけにアクションが起ししやすいのではと判断した。 ・候補ルートに登録されてからの活動も積極的であり、指定ルートになることにより、更なる飛躍を期待したい。
E	○	○	○	○	○	認められる	認められる	認められる	推薦できる	

#### ※視点

- 優れた景観資源の有無及び地域資源の優位性
- 活動団体によるルート運営活動計画の主導的な推進
- 地域住民等と行政が一体となった地域の魅力向上の取り組み
- 景観の質の向上、ルートのブランド化、地域の活性化

# シーニックバイウエイルート提案書

令和4年 9月16日

シーニックバイウエイ北海道推進協議会長 殿

知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウエイ

ルート運営代表者会議

代表 遠藤 修一



以下のとおり、シーニックバイウエイルートの提案を行います。

## 記

代表者名	遠藤 修一	
代表者の所属	大地みらい信用金庫 理事長	
代表者の住所	根室市梅ヶ枝町 3-15	
代表者の連絡先	電話 0153-24-4105	F A X 0153-24-2801
担当者名*	伊藤 泰通	
担当者の所属*	有限会社 伊藤畜産	
担当者の住所*	根室市明郷 101 番地	
担当者の連絡先*	電話 0153-26-2181	F A X 0153-26-2141
ルート名	知床ねむろ北太平洋シーニックバイウエイ	
構成団体数	27 団体	
関係市町村名	羅臼町、 標津町、 中標津町、 別海町、 根室市、 浜中町、 厚岸町、 釧路町	
※ルート運営活動計画とは別に、基幹となるルートが明示された参考図(様式1-2)を添付してください。	計 ( 8 ) 市町村	
提案の種類	<input checked="" type="checkbox"/> シーニックバイウエイルート	<input type="checkbox"/> シーニックバイウエイ候補ルート
必要書類	<input checked="" type="checkbox"/> ルート運営活動計画 <input checked="" type="checkbox"/> 関係市町村長の意見 <input checked="" type="checkbox"/> 候補ルート登録時における付帯意見の対応表	<input type="checkbox"/> ルート運営活動計画の骨子
備考		

※代表者以外が連絡窓口となる場合には、担当者名の氏名・住所・連絡先もご記入ください。

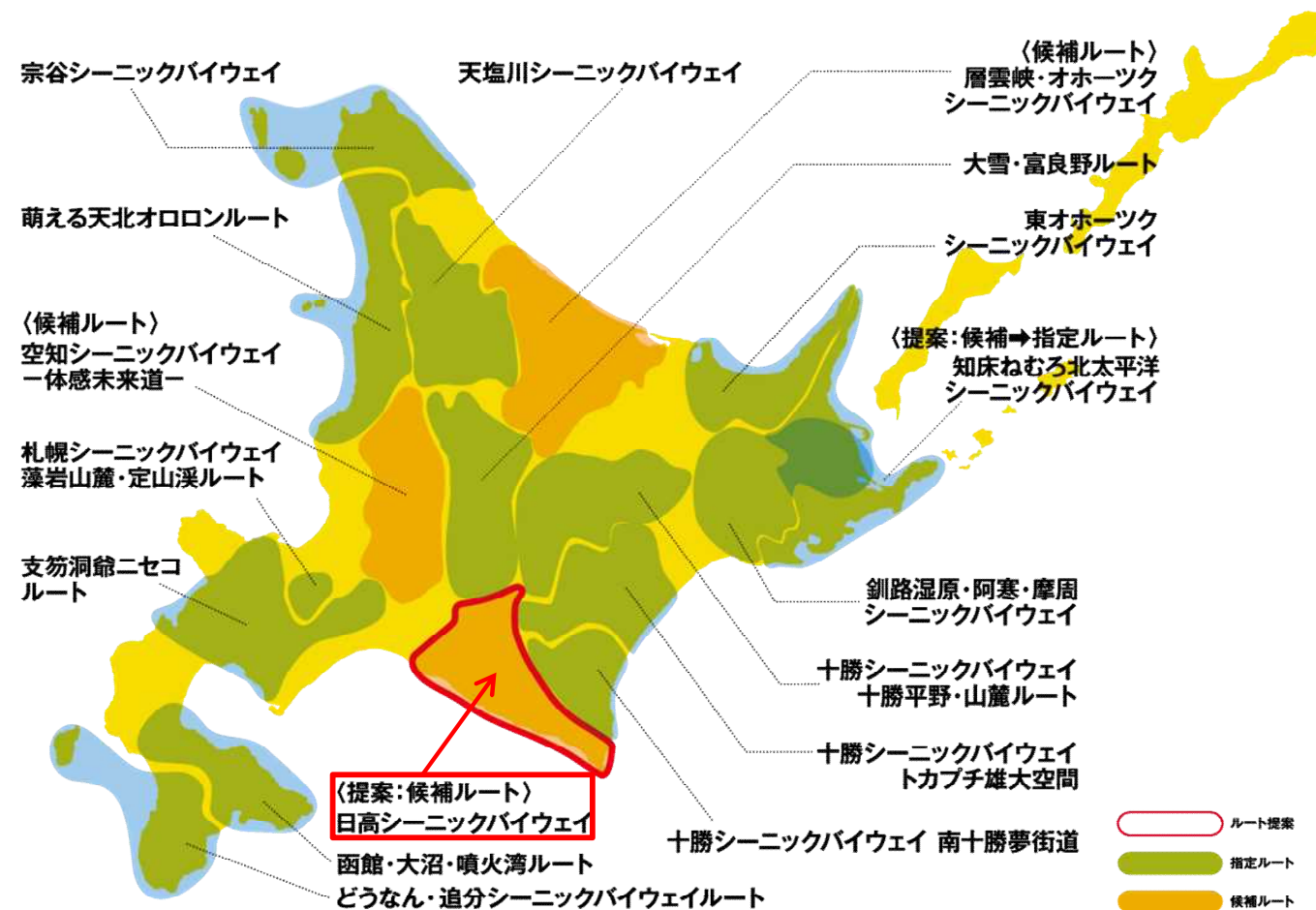
以 上

# シーニックバイウェイ北海道 今回の提案ルート

ルート名称	代表者名	代表者の所属	構成団体数	関係市町村数
<b>〈提案:候補ルート〉</b> 日高シーニックバイウェイ	工藤 仁 (くどう ひとし)	様似町商工会	31	7

## ▼ルート登録状況

候補登録年月日	指定年月日	ルート名称
—	H17.05.09	支笏洞爺ニセコルート
—	H17.05.09	大雪・富良野ルート
—	H17.05.09	東オホーツクシーニックバイウェイ
—	H18.04.18	宗谷シーニックバイウェイ
H17.05.09	H18.11.13	函館・大沼・噴火湾ルート
H17.05.09	H18.11.13	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
H18.04.18	H20.05.12	萌える天北オロロンルート
H18.04.18	H21.05.13	十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート
H20.05.12	H22.05.17	十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間
H18.04.18	H23.07.29	十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道
H21.05.13	H23.07.29	札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート
H20.05.12	H27.12.21	どうなん・追分シーニックバイウェイルート
H25.06.24	H29.10.24	天塩川シーニックバイウェイ
H25.06.24		層雲峡オホーツクシーニックバイウェイ
H30.11.05		空知シーニックバイウェイ-体感未来道-
R01.09.20		知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ
		<b>日高シーニックバイウェイ</b>



令和4年12月22日  
シーニックバイウェイ北海道推進協議会

シーニックバイウェイ候補ルートの登録について

○シーニックバイウェイ北海道推進の基本方針に基づき、シーニックバイウェイ北海道実施要綱第18条第一項及び第二項の規定により、次のとおりシーニックバイウェイ候補ルートの登録を行う。

ル ー ト 名：日高シーニックバイウェイ

関係市町村：えりも町、様似町、浦河町、新ひだか町、新冠町、日高町、平取町  
(7市町村)

提 案 者：日高シーニックバイウェイルート代表者会議

なお、上記登録を行うにあたって、別紙の通り意見を付記する。



## シーニックバイウェイ北海道推進協議会 意見

### ■シーニックバイウェイ候補ルート

#### ◆候補ルート全体に対する意見

ルート活動に参加するあらゆる団体・個人が、シーニックバイウェイについて理解を深めるとともに、引き続き、ルートとしての理念・目標・活動指針の明確化とその共有化を図ること。

また、各ルートで共有化された理念・目標・活動指針の達成に向けて、各地・各種の人や地域資源に関するマネジメント方針を明確化し、その方針に基づき、各ルート活動団体の運営体制の強化や、人材発掘・育成、地域資源の発掘・活用などの取り組みを引き続き進めること。

さらに、ルート活動団体が中心となり、地域住民、各種団体、行政、地域産業など様々な主体を含めた幅広い連携・協働のあり方を検討し、それらの主体との連携・協働に基づく価値共創の取組を推進していくこと。

#### ◆日高シーニックバイウェイに対する意見

本地域は、他地域にはない独特な海岸景観や馬牧場、アポイ岳ジオパークを代表とした魅力的な資源を有し、水産業、畜産業、農業といった多種多様で豊富な食文化が形成されている。また、アイヌ文化の継承や優駿の故郷としての馬文化が特徴的であり、ユニークな光を放っているといえる。それらを踏まえ、アイヌ文化、馬文化等の地域資源をどのようにルート活動に反映させるか、地域としての生き様や価値、各種資源や文化の継承等について活動団体だけではなく、地域住民や行政が一体となって検討することが効果的であると考えられる。

シーニックバイウェイの推進においては、ルート全体に加え、サブルート、サブエリアの理念、年次別及び中長期の達成目標（どのように地域を売り出していくか、どのような形で地域を訪れてほしいのか等）の明確化について、今後さらに議論する必要があると考えられる。加えて、現地で実際に活動を展開している方々と、それらの活動の統制を試みる方々の間に意識の乖離が生まれないよう配慮することが重要である。本地域の全体像を把握している活動団体、さらには、本地域の特徴的な資源であるアイヌ文化や馬文化、水産業、食に関連する活動団体に、今後シーニックバイウェイの活動に参加いただく連携・協働の取組も有益であると考えられる。

また、ルートテーマに掲げられている「日高の自然の恵みと感動に出会う道」について、感動の要素、自然の恵みの具体性及び活用方法等について、再整理することが求められる。その際、地域内のみならず、地域外からの意見も取り入れて議論することが効果的であり、ルート活動としての独自・新規の取り組みを進め、極めて高い優位性のある景観資源・地域資源をさらに磨きをかけた“ブランド力の強化”による魅力的な地域づくりをさらに進めることが望まれる。

シーニックバイウェイ北海道 ルート審査委員会

委員長 小林 英嗣

ルート審査委員会 意見

■シーニックバイウェイ候補ルート

◆候補ルート全体に対する意見

ルート活動に参加するあらゆる団体・個人が、シーニックバイウェイについて理解を深めるとともに、引き続き、ルートとしての理念・目標・活動指針の明確化とその共有化を図ること。

また、各ルートで共有化された理念・目標・活動指針の達成に向けて、各地・各種の人や地域資源に関するマネジメント方針を明確化し、その方針に基づき、各ルート活動団体の運営体制の強化や、人材発掘・育成、地域資源の発掘・活用などの取り組みを引き続き進めること。

さらに、ルート活動団体が中心となり、地域住民、各種団体、行政、地域産業など様々な主体を含めた幅広い連携・協働のあり方を検討し、それらの主体との連携・協働に基づく価値共創の取組を推進していくこと。

◆日高シーニックバイウェイに対する意見

本地域は、他地域にはない独特な海岸景観や馬牧場、アポイ岳ジオパークを代表とした魅力的な資源を有し、水産業、畜産業、農業といった多種多様で豊富な食文化が形成されている。また、アイヌ文化の継承や優駿の故郷としての馬文化が特徴的であり、ユニークな光を放っているといえる。それらを踏まえ、アイヌ文化、馬文化等の地域資源をどのようにルート活動に反映させるか、地域としての生き様や価値、各種資源や文化の継承等について活動団体だけではなく、地域住民や行政が一体となって検討することが効果的であると考えられる。

シーニックバイウェイの推進においては、ルート全体に加え、サブルート、サブエリアの理念、年次別及び中長期の達成目標（どのように地域を売り出していくか、どのような形で地域を訪れてほしいのか等）の明確化について、今後さらに議論する必要があると考えられる。加えて、現地で実際に活動を展開している方々と、それらの活動の統制を試みる方々の間に意識の乖離が生まれないよう配慮することが重要である。本地域の全体像を把握している活動団体、さらには、本地域の特徴的な資源であるアイヌ文化や馬文化、水産業、食に関連する活動団体に、今後シーニックバイウェイの活動に参加いただく連携・協働の取組も有益であると考えられる。

また、ルートテーマに掲げられている「日高の自然の恵みと感動に出会う道」について、感動の要素、自然の恵みの具体性及び活用方法等について、再整理することが求められる。その際、地域内のみならず、地域外からの意見も取り入れて議論することが効果的であり、ルート活動としての独自・新規の取り組みを進め、極めて高い優位性のある景観資源・地域資源をさらに磨きかけた“ブランド力の強化”による魅力的な地域づくりをさらに進めることが望まれる。

ルート審査委員会の審査結果

(1) シーニックバイウェイ候補ルート（日高シーニックバイウェイ）

表1-1 【審査結果】

視 点  委員	優れた景観資源の有無および 地域資源の優位性について					景観及び地域資源について	推 薦 可 否
	景観	自然	文化	歴史	レク		
A	○	—	—	—	○	①長大なルート内に“光景（自然現象や地形など）”“風景（人間の作為による構築物や工作物による）”“情景（地域社会の生産活動や日常生活の諸活動と生物や人間の表情など）”の各種景観資源がややランダムに分散している ②ニュー・ツーリズムに呼応しうる資源の発見や人口減少社会を支える”Maas”を結び付けることを意識した活動も不可欠である。	—
B	○	○	○	—	○	①特徴ある3つの街道をうまく配置し、地域の魅力、美しい景観をストーリー性をもってアピールしている。 ②日高山脈とサラブレッド、アイヌ文化、アポイ岳世界ジオパークに代表される貴重な資源はいずれも重要な景観構成要素。	○
C	○	○	○	—	—	①景観は入植の歴史が早い割には手つかずの状態が保たれ、雄大な牧場でのサブレット育成風景が日本離れした景観を生んでおり、アイヌ文化と相俟って独特な優位性を保持している。 ②水産業、畜産業、農業と多種多様な食が豊富でユニークな「食文化」が形成されている。	○
D	○	○	○	—	—	①アイヌ文化、馬文化などの地域資源は特筆に値するが、記述の印象が薄く、立て看板の内容を列記した感が否めない。 ②貴重な地域資源に対する愛情がもっと伝わるようにして欲しい。	—
E	○	—	○	—	—	①他地域にはない独特の海岸景観、馬牧場、アポイ岳ジオパークに代表される山岳景観の価値は高い。 ②海産物、農産物、和牛等食に関する資源も豊富であり、観光レクリエーションのメニューもあるが、さらなるブランド力の強化が必要ではないか。	○

表1-2 【付帯意見】

- ・他の先行ルートの視察や交流に加え、地域活動団体の絶え間ない交流と連携、加えてこれから求められるニューツーリズムへの対応を意識した独自の地域資源発見と公民連携による活用とSNSなどによる情報発信を期待したい。
- ・アイヌ文化、競走馬育成文化などの地域資源をどのようにルート活動に反映させるか、現活動団体だけではなく、地域住民等や行政と一体となって方向性の検討が必要。
- ・ルート全体に加え、サブルート、サブエリアの理念、そして年次別の達成目標の明確化が必要。
- ・本地域の全体像を把握している活動団体、さらには、本地域の特徴的な資源であるアイヌ文化や馬文化、水産業、食に関連する活動団体に、今後シーニックバイウェイの活動に参加いただくことも有益であると考えられる。
- ・ルートテーマに掲げられている「日高の自然の恵みと感動に出会う道」について、感動の要素、自然の恵みの具体性及び活用方法等について、再整理することが求められる。
- ・ルート活動としての独自・新規の取り組みを進め、極めて高い優位性のある景観資源・地域資源をさらに磨きかけた“ブランド力の強化”による魅力的な地域づくりをさらに進めることが望まれる。